

2014年6月25日(水)
I T C カウンシルNo.7
松江クラブ 溝口さち子

フィンランドメソッド入門編

《参考資料》

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| *フィンランド・メソッド入門 | 北川達夫 |
| *フィンランド国語教科書小学5年生 | メルヴィ・バレ/マルック・トッリネン
北川達夫 訳 |
| *フィンランドメソッド実践テキスト | 諸葛正弥 |
| *受けてみた フィンランドの教育 | 実川真由、実川元子 |

フィンランドメソッド（フィンランド式思考法）

はじめに

今期のプログラムで何か目新しいものはないかと ITC の資料を探したところ、カウンスルNo.8 東京クラブの 4 年前のプログラムに「フィンランド式思考法」というのがありました。インターネットで検索すると、フィンランドの教育関係で沢山情報がありました。

日本でフィンランドの教育が注目されはじめたのは、**2000 年**、**2003 年**の OECD（経済協力開発機構）の学習到達度調査（PISA）において、読解力部門でフィンランドが **1 位**を連続してとったためでした。

その時、日本は **8 位（2000 年）** から **14 位（2003 年）** へ。

PISA は日本の教育レベルの低下が問題となり、**1980 年代**に始まった「ゆとり教育」から「脱ゆとり教育」へと舵が切られるきっかけとなった調査です。

PISA Program for International Student Assessment

2000 年から 3 年ごとに、OECD 加盟 28 か国を含む 32 か国の 15 才が対象
数学リテラシー、科学リテラシー、読解力を調査、現在は 65 か国が参加

そして当時、日本の教育関係者の間で、つめこみでも、ゆとりでもない第三の方法として「フィンランドメソッド」が俄然注目を集めたようです。

今回、関連の本を数冊読んで、これは、ITC で学ぶ我々にぴったりのテーマでは、と思いました。

フィンランドの教育、その中でも国語教育の目指すものは、『グローバルコミュニケーション力』を習得することなのだそうです。

ITC は **International Training in Communication** です。

宣誓では常に、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術の向上につとめると言っているのですが、何を、どうすればよいのか、具体的な方法について我々に役立つヒントが見つかるかもしれません。

それでは、フィンランドメソッド普及会、会長、北川達夫著、『フィンランドメソッド入門』と『フィンランド国語教科書、小学 5 年生』（日本語翻訳版）をもとにフィンランドメソッドを簡単に解説してみます。

《フィンランドの国語教育の目指すもの》

- 1、「グローバルコミュニケーション力」をつける。
相手が世界中のどこの誰であろうとも、自分の言いたいことを伝え、相手の言うことを理解できるようになること。
- 2、そのために「5つの力：発想力、論理力、表現力、批判的思考力、コミュニケーション力」を養成する。

〈 5つの力 〉

①発想力

「言いたいこと」を思いつかなければ、コミュニケーションははじまらない。まずは発想を誘引し、整理すること。

②論理力

「言いたいこと」に筋が通っていなければ、だれも納得しない。相手が納得するように話すこと。

③表現力

言い方が悪ければ「言いたいこと」は伝わらない。相手が理解できるように話すこと。

④批判的思考力

相手の言い分にも一理ある。自分の言い分にも問題がある。それを認める
ところからコミュニケーションがはじまる。

⑤コミュニケーション力

①～④の力を身に着け相手に伝えると同時に相手の言うことをよく聴く。
常に相手意識をもつことでコミュニケーション力は養われる。

〈 具体的な教え方 〉

1、発想力

カルタをつくる。

カルタ-----マインドマップともいう。中央にテーマを書き、その周囲に
テーマから連想したことを放射状に書き込んでいく。

2、論理力

どうして?に答える。

意見を述べる時理由を3つつける。

なぜなら(理由1) それに(理由2) また(理由3) --- 説得力
物語を読むとき、書くとき、原因と結果を考える。--- 一貫性

3、表現力

指定の語句を使ってできるだけ短く文章を書く----言葉の使い方

与えられたフォーマットに従って文章を書く。----基礎的な文の書き方

4、批判的思考力

グループで作文を完成させる。

①カルタを全員で作る。②書き手を決め、文章を書く。

③全員でいいところ、悪いところを10個ずつ挙げる。④書き直す。

⑤別のグループに渡してまた良いところ悪いところを10個ずつ挙げて
もらい、書き直す。---多くの目を通すことにより完成度が上がる。

本当にそうかな?-----思い込みはないか、検証する。

5、コミュニケーション力

相手の立場になって考える。

相反する立場の場合、まず自分の意見とは反対の側に立って理論を構成し
てみて、それを意識しながら、自分本来の立場に立った意見をのべる。

自分を押し殺して相手の意見に同調することではない。

反論する場合---相手の意見そのものではなく、その理由を想定し、「ほんと
にそうかな? どうして?」ときいていく。

あるクラスが話し合って決めた議論のルール

- ①他人の発言をさえぎらない。 ②話すときは、だらだらとしゃべらない。
- ③話すときに、怒ったり泣いたりしない。④分からないことがあったら、すぐ質問する。⑤話を聞くときは、話している人の目を見る。
- ⑥話を聞く時は、ほかのことをしない。⑦最後まで、きちんと話を聞く。
- ⑧議論が台無しになるようなことを言わない。⑨どのような意見であっても間違いと決めつけない。⑩議論が終わったら、議論の内容の話はしない

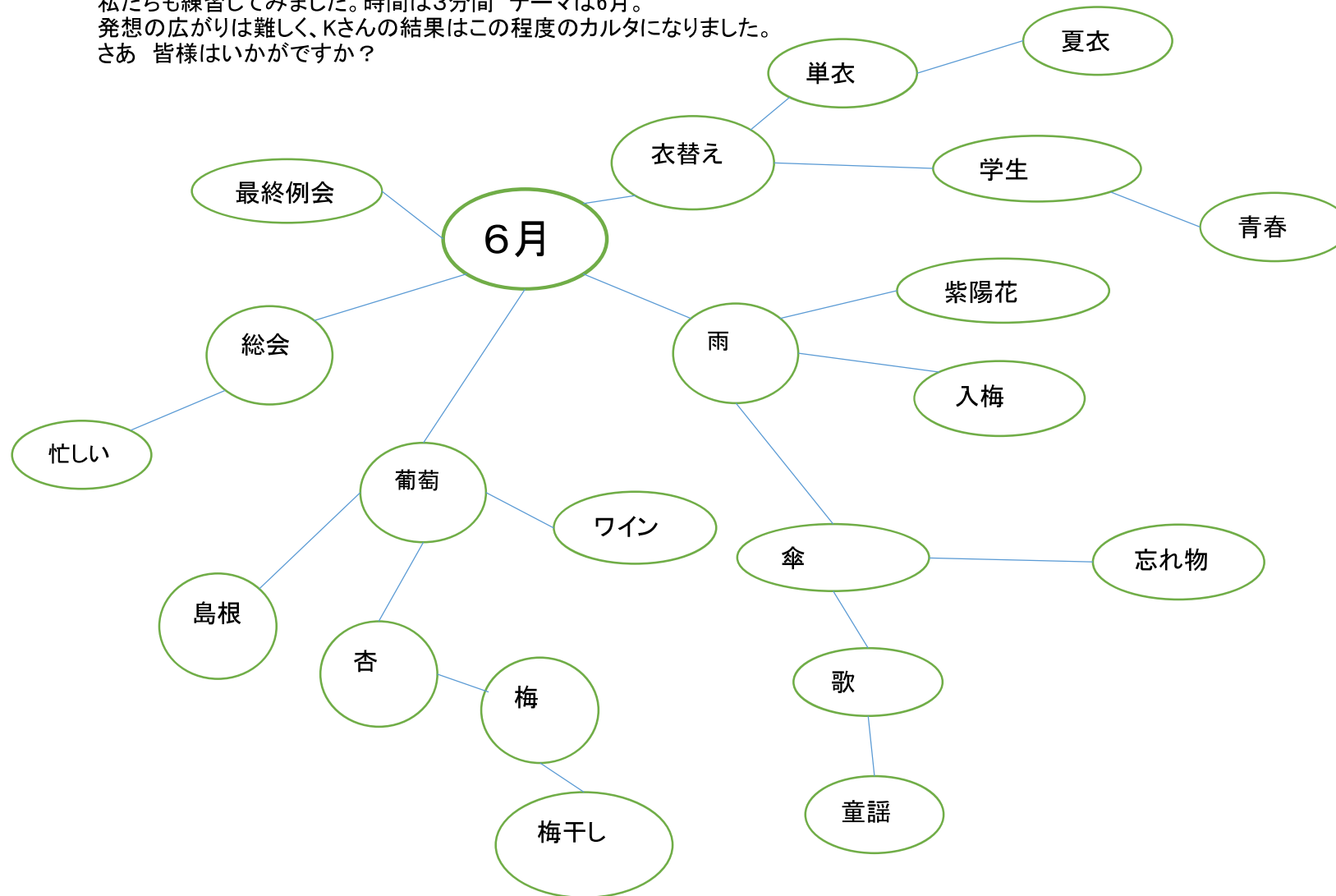
《 フィンランドの国語教育の特徴 》

- 1、「ペルステッラ」——自分の考えを述べ、その理由付けをする。
正しい解答という「結果」よりも適切な理由付けという「プロセス」を重視する。
問題に解答がない。考え続けることによって「考える力」が身に着く。
- 2、型を教え込む。
旅行記、説明文、物語、作文、読書感想文、インタビュー等の書き方を手順をおって教えていき、文章の書き方の基本を身につけさせる。

** 我々がフィンランドメソッドから学べることは？

カルタ(マインドマップ)を作って 発想したものを確認しよう!!
テーマを真ん中に そこからどんなことが発想されるでしょう縦横無尽に連想しましょう

私たちが練習してみました。時間は3分間 テーマは6月。
発想の広がりや難し、Kさんの結果はこの程度のカルタになりました。
さあ 皆様はいかがですか？



フィンランドメソッド カルタ

夏から連想する言葉のネットワーク(マインドマップ)を作ってみましょう!
(時間は3分)

ITC日本リージョン カウンシルNo. 7
第26期 第3回会合 2014/6/25

